

議会だより

28号

2026年(令和8年)
1月15日

1月23日 文化の祭典 カブキッズ登場



千年に
翔けよう



- 令和8年度村政への提言 2~3ページ
- 第4回定例会 3~4ページ
- 一般質問 5~7ページ
- 飯伊市町村議会議員研修会 7ページ

- 地方自治政策課題研修会 8ページ
- 東海興業40周年 8ページ
- そば栽培振興30周年記念式典 9ページ
- 議長コラム・編集後記 10ページ

(4) 消防力の維持と強化
のための消防団員確保

(5) 自主防災活動の持続、
学校と連携した防災

(6) フェスの開催による
住民の防災意識の向上

(7) 一人暮らし高齢者の
ための安否確認と見
回り支援の充実

(8) 学校づくりの推進

(9) 不登校児童・生徒に
対する支援体制の充
実

(10) 子どもの意見を活か
した村づくり・学校
づくりの推進

(11) 通学路の安全確保と
歩道の整備

(12) 議員のなり手不足
について

(13) 一般質問は、議員5名
より

(14) 債務負担行為 令和
6年度大久保地区村道
139号線村単道路防
災対策工事請負契約の
変更に係る報告につい
て

(15) 下條村職員定数条例
の一部を改正する条例
について

(16) 村長部局と教育委員
会部局の職員定数の現
状の相違の改正とともに、
昨今の事務分掌を見
込まれることから改



第4回 下條村議会定例会

- ◎農道・水路等補修工事や道路維持修繕工事などの増とする補正予算（第3号）可決。
- ◎「下條村職員定数条例」、「下條村火入れに関する条例」など、
条例の一部改正6件を可決。

会期12月9日から12月16日まで

令和7年第4回定例議会は、12月9日に招集され、16日までの8日間の会期で行われました。工期の変更は架空線移設に伴う遅延のため本年9月30日までを59日間延長し11月28日に変更、契約金額の変更是設計時より崩落の規模が拡大したことによつたためで、1,323万3千円増額の7,208万3千円とする変更契約を株式会社パテックと締結しました。

報告 1件、条例の改正6件、補正予算3件、陳情1件、意見書の発議1件が提出されました。審議の結果、議題のすべてを可決し閉会しました。

▼報告

▼一般質問は、議員5名より

初日に行われた一般質問はP5以降に詳細が掲載されています。

○債務負担行為 令和6年度大久保地区村道139号線村単道路防災対策工事請負契約の変更に係る報告について

・令和6年11月の臨時議会で承認し同年11月5日付けで本契約を締結した村道139号線

●下條村職員定数条例の一部を改正する条例について

・村長部局と教育委員会部局の職員定数の現状の相違の改正とともに、昨今の事務分掌を見込まれることから改

正を行うもので、審議の結果、原案どおり可決しました。

○下條村火入れに関する条例の一部を改正する条例について

・火災予防条例の一部改正及び南信州広域連合火災予防条例、同施行規則の一部改正に伴う改正で、主な内容は、新たに林野火災注意報の文言を追加するのも

で、審議の結果、原案どおり可決しました。

○下條村国民健康保険条例の一部を改正する条例について

・同条例中で財産管理を規定する条文を削除する一部改正が、厚生労働省より通知されていたことが判明したため、条例中の該当条文を削除する改正を行つたもので、審議の結果、原案どおり可決しました。

○下條村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する条例について

▼補正予算
○一般会計(第3号補正)
総額3億5,400万円に。

る基準を定める条例の一部を改正する条例について

○下條村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

○下條村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する条例の一部を改正する条例について

・右記3条例は、令和7年10月に児童福祉法等の一部改正に伴う改正で、保育所等の職員による虐待に関する通報義務を創設するとともに、国家戦略特別区域法に基づく地域限定期法に基づく地域限定期法に基づく地域限定保育士制度の一般制度化に関する改正に伴い、該当条文の改正を行つたもので、審議の結果、原案どおり可決しました。

【歳入の主なもの】
地方交付税に5,040万3千円、障害者自立支援給付費の国庫負担金448万1千円、国庫同様に県負担金224万円、農地災害復旧費県補助金1,550万円、災害復旧事業債1,550万円、緊急自然災害防止対策事業債2,140万円などを増額。

○下條村国民健康保険特別会計(第2号補正)
総額3億2,255万円に。

【歳入の主なもの】
・保険給付費の一般療養給付費4,807万6千円、高額療養費1,034万円の増などを計上(可決)

○下條村簡易水道事業会計(第1号補正)
第3条収益的収入及び支出

・収入の簡易水道事業収益を260万円増額し、6,361万4千円、支出の簡易水道事業費用を430万円増額し、1億7,473万5千円に。

【可決】
社会文教委員会に付託、審議の結果「採択」

○下條村簡易水道事業会計(第1号補正)
第3条収益的収入及び支出

・資本的収入は、企業債を第3条収益的予算振替で7,500万円減、資本的支出は5,200万円増の3,278万5千円に。

●診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める意見書

●議員発議
【陳情】
【可決】
【議員発議】
【陳情】
【可決】

**福沢敏議員、塩沢道雄元議員
自治功労者表彰受賞**

長野県町村議会議長会より地方自治の振興に功労のあつた者として自治功労者表彰が授与されました。

た。今後のさらなる活動を期待します。



され、本議会においても「採択」されました。

~村民が危惧している熊対策について~



佐々木幸子 議員

Q

熊の出没は情報があればオフトークで注意喚起を流しているが、それだけでは足りない。命と生活を守るための村の実状に合う効果的な対策を継続的に検討し、体制を構築する事が望ましい。

対策としては、実際に遭わないようする方法や、出会った時の場合の対処を記載したチラシ等を作成し全戸に配布。放置果樹の撤去支援、住民の生ゴミ管理徹底、街路灯の増設、草刈りによる見通し確保、殊に通学路に於いては速やかにすべきだ。

獣友会の若手メンバー増員に向けての取組も急務である。

花火や祭り等人里の活気を、自然界にアピールすることも手立ての1つである。

被害が甚大なものとならないよう、手立てを考えてもらいたいが村ではどのような施策があるか伺いたい。

A

下條村では、今のところ人身被害や農作物の被害は出でていないが、目撃や足跡は7件寄せられている。県では、熊の捕獲許可基準や出没時等のマニュアルを作成し、市町村に周知している。

村では、これにより地域区分毎の捕獲許可方針を策定し、目撃情報があり次第音声告知によって注意喚起を促し、人家が近い場合は警察に連絡し、警戒に当たってもらう。

教育委員会に情報を伝達し、児童生徒の安全確保の為、集団下校にしたり保護者による送迎対策を行っている。

また、獣友会員と共に熊の出没地点付近へ箱罠の設置などの対策も講じている。

獣友会のメンバー拡充のため、村の支援も検討する。

支障木伐採や野生動物を人里に誘引しないような施策の充実に努めていく。

リニア発生土処理地計画の進捗状況と工事のインフラツーリズム活用について

Q

リニア発生土処理地活用計画の進捗状況は？



福沢 敏 議員

A

リニア開業時期の延期に伴い埋立工事の完了も遅れる見通しであるが、「そばの城」の老朽化が著しく早期の改修が必要で、第2駐車場など埋立後を考慮した計画を策定し、「そばの城」のリニューアルを中心とした「道の駅ゾーン」の整備に着手することとした。現在、計画策定に向けて課題の整理、整備の範囲、各施設との調整等を行っている。

Q

リニア発生土処理地計画案のコンセプト「健康志向」のためのメニューを充実させるためには、関連する企業・大学や医療機関などとの提携が欠かせないのではないか？

A

現状では関連機関との提携の構想はないが、持続可能性、地域展開の面からも大変有益な方策と考え、整備計画の策定に当たっては、目的とニーズの明確化を図るなかで研究していきたい。

Q

睦沢の埋立工事は道の駅に隣接する大規模土木工事で、インフラツーリズムの対象として魅力的である。長期間にわたる工事を道の駅の活性化にもつながる新たな観光資源ととらえ、インフラツーリズムに活用することを提案する。

A

工事のインフラツーリズム活用は、工事の透明性、観光振興、教育などの面でも大きなメリットがあると考える。現場の安全管理やツアーコードを考慮し、道の駅の安全な場所に埋立工事の様子が一望できる展望台と、工事概要を説明するパネル等を設置する方法が良いのではないかと考える。JR等と協議を行いながら進めていきたい。

活気ある村づくりのために 関係人口の創出、移住定住促進をどう進めるか



丸山浩子 議員

Q 促進事業の現状と課題は？
移住希望者へのサポート、移住者交流会を増やすことが必要では？

A お試し住宅利用者へは、半日かけて村内案内・ヒアリングもする。ニーズに応じたプランを立てる。空き家バンク利用定住者には、隣組への積極的な関わりをお願いしている。移住者交流会は2月28日予定。

Q 空き家対策をどう進めているか？地域にある空き家の利活用を、離れ住む持ち主に伝えることが重要では？

A 専門の窓口を設け個人相談を進めている。令和3年度からの空き家バンクの現状：①利用者登録（空き家を探している人）26件 ②登録累計（空き家を提供したい人）19件 ③仮登録（現在使用中で、今後バンク登録希望）5件 ④成約数（契約済み）9件

Q 移住定住事業のホームページを更に熱量のあるものに更新し、魅力を発信して外の人を呼び込むこと、学生などの農業体験の交流等の事業を継続させることを要望。

A 南信地域、下條の知名度を上げる発信が大事。今までの役場のホームページだけでなく、新規開設したポータルサイトで村民からの発信を期待。5名が応募した早稲田大学生とのコラボ「高校生魅力発信プロジェクト」に取り組んでいる。

【再要望】 移住者が安心して住み続けられるよう福祉面の施策を詳しく広報していただきたい。

下條村の地域福祉の充実と発展について

Q 地域福祉とは何か、下條村の取り組みは？ 個別に見守りや声掛け、困りごとの発見や手助けなどを行う人や組織が必要ではないか。



宮嶋成子 議員

A 住み慣れた地域で誰もが自分らしく安心して暮らすために、行政、福祉関係者、住民、ボランティアなどが協力して、地域全体の福祉課題を解決していく考え方や取り組み。傾聴、災害時避難所ボランティアの育成講座、下條村活動団体冊子の配布、シニアクラブや身体障害者協会などへの支援と、民生委員と福祉課が常時連携し個別に必要な支援につなげている。福祉サポートに特化した地域支援員を募る検討をしたい。

Q 地域の中に障がいのある方との交流の場がほしい。また小中学校の飯田養護学校との副学籍交流の課題は？

A 身体障がい者福祉協会の活動が縮小傾向にある。交流についてまずはニーズを把握する。副学籍の制度は、将来地域で生活していくうえで意義がある。取得は保護者や本人の希望によるものであり、意識改革が課題。交流への参加は保護者の送迎に任されていること、高校においては行われていないことも課題である。

【要望】 地域福祉に対する住民の意識向上と主体的参加を促すため、福祉を学ぶ機会が必要。共生社会構築のため、重層的支援体制整備事業や孤独・孤立対策推進法がある。見守り、声掛けなどつながりを支援する人や組織等体制整備のための予算と情報共有を求める。

地方自治政策課題研修会 「逆参勤交代で拓く地方創生の未来」

11月4日

「逆参勤交代」とは何ぞやと思いながら、オンライン視聴を始めました。江戸時代のそれは、江戸に人の流れで、藩邸や街道が整えられ、地方の富が集まりました。加賀藩では3千人の人が江戸に在住していましたとか。首都圏に集中した人材を期間限定で地方に滞在させることが、逆参勤交代なのだそうです。

逆参勤交代は、個人・企業・地域・学校にとって、四方よしの施策だと、講師の松田智生さん（三菱総合研究所主席研究員）のお話でした。現在、全国で23の自治体で実施されているそうです。

逆参勤交代の好事例の紹介がありました。本業では東京で働く内プラチナ大学」は、約10の多様な講座があり東京講堂では、

各地の市長・町長の講義を聞いたり、逆参勤交代への期待が語られます。フィールドワークに出向いた先ではその地域の魅力や課題を発見したり、地元のキーパーソンと交流したりするそうです。あ

くまでも地元にメリットがあり、地元住民にも良い刺激になっていたことでした。

また、地元の中高生と交流し、街の活性化や将来のキャリアを討議して、自己肯定感を育み未来人材の育成に繋がっていることも語られました。「半学半教」お互いに学び合う機会になるようです。

逆参勤交代の好事例の紹介がありました。本業では東京で働く内プラチナ大学」は、約10の多様な講座があり東京講堂では、

各地の市長・町長の講義を聞いたり、逆参勤交代への期待が語られます。フィールドワークに出向いた先ではその地域の魅力や課題を発見したり、地元のキーパーソンと交流したりするそうです。あくまでも地元にメリットがあり、地元住民にも良い刺激になっていたことでした。

また、祝賀イベントのカラオケや社員バンドの演奏で躍動する社員の姿は、未来の東海興業下條工場の飛躍を強く感じるものでした。

（田中兼次）



祝 東海興業下條工場設立40周年



10月25日、東海興業株式会社下條工場設立40周年祭が、盛大に開催されました。現会長が設立当初から尽力している例。実施のアイデアとして、「ふるさと納税者逆参勤交代制度」「卒業生逆参勤交代制度」（地元高校卒業生は10年毎に戻り、街の今を知つてUターンのきっかけとする）の提案も話されました。

年に80万人も人口減少してしまった日本。人材の争奪をするのでなく共有するという言葉が印象的でした。祝賀会は工場のバッカヤードを会場とし、B B Qスタイルで、本社役員の方々や現従業員の皆様と共に祝いました。村を代表し金田村長より、40周年の祝意と村民の社員採用に感謝

し、更なる発展を祈念されました。懇談の中、現会長が設立当初から工場用水に地元井水を軸に、ハイブリッド車や電気自動車の重要な部品を大手メーカーに供給し、ゼロカーボンに向け大きく発展し、自動車産業界で大きく発展し、40周年を迎えるました。

祝賀会は工場のバッカヤードを会場とし、B B Qスタイルで、本社役員の方々や現従業員の皆様と共に祝いました。村を代表し金田村長より、40周年の祝意と村民の社員採用に感謝

下條村そば栽培振興30周年記念式典

村の特産として定着、支えてこられた皆様に感謝をこめて 12月6日

増えました。

式典では、下條村そ

ば栽培生産者組合と、

(株)そばの城前社長の熊

谷孝康氏に対し、30年

間にわたるそば栽培に

おける功績を称え表彰

が行われました。代表

し、そば生産者組合第

6代組合長の宮島栄一

氏が謝辞を述べられ、

組合員のご尽力に対する

敬意と、買ってくれ

る業者や消費者への感

謝、今後とも栽培技術

向上を目指す中で「や

りがい、生きがい、仲

間づくり」を進めてい

た。



」を演題に行われました。

青木村は上田市と松

本市の中間にあり、平

成21年より倒伏しにくく

く乳熟期に果皮が赤く

なる品種「タチアカネ」

の試験栽培を開始。翌

年標高1000メー

トルの牧場跡2.7ha

で採種を開始し、24年

からはタチアカネが青

木村限定栽培となつた

ことで産地化がスター

ト。現在は栽培面積

90ha、4経営体により

生産が行われ、湿害対

策や長雨・降雹、鹿によ

る被害など安定生産

への課題も挙げつつ、

ツルヤブランドの生そ

ば、東京渋谷東急での

販促会、炊出し支援車

(キッチンカー) タチ

アカネG.Oなど、品質

向上、PR、観光、イ



下條村のそば栽培は、平成7年に遊休農地活用を目的に始まり、8年には道の駅「信濃路下條そばの城」が開業し6次産業化され、村の特産として、

また村の観光の中心として振興されてきました。以来30年、栽培面積は7haから30haを超えて、収穫量も1.2tから15~25tに、栽培農家は23戸から62戸と

式典後には記念講演として、講師に青木村長、北村政夫氏を迎えて、「タチアカネ蕎麦で村おこし」そばは多くの人々に幸せをもたらす

ベント、商品開発などの取り組みと、道の駅「あおき」食堂における月売上げおよそ7千万円のうち6割がそばであることが紹介されました。

講演後半には北村氏（宮嶋成子）

自らそば打ちを実演し、香りよい十割そばと菱そばづくりを披露、また多彩なタチアカネの献立も紹介しました。そのうえで、幸

福や健康を高めてくれるのはいい人間関係であり、そばはハレの日の食べ物、節目節目にそばを食べ家族の絆を深めてきたことをあげ、幸せをもたらす信州のそばを、共に広めていこうとエールをいたしました。

